

NPO 自立支援センター ふるさとの会

2007.1.22
【第1号】



これはHTML形式のMAILです。オンラインで無い場合は画像が表示されない可能性があります。

[HOMEPAGE](#)

[SCHEDULE](#)

[EVENTs](#)

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

INDEX

1. 越年祭り報告
2. ふるさとの会HPリニューアルしました
3. 小正月にはみんなでお汁粉を
4. 事業所探訪—その1 東駒形荘 その2 ふるさと日の出館
5. ノロ対策—ヘルパーステーションの研修
6. 今月のボランティア募集

1.越年祭り報告

♪越年冬祭りに参加して♪

初めて、越年冬祭りに参加して、炊きだしや、ぼやぼやバンドのコンサートなど貴重な体験をすることができました。中でも印象に残ったのは1月3日のなぎさ寮(東京都越年期対策事業施設)での演芸会で、東京善意銀行友の会の方々にお祝いし、歌、踊り、バナナの叩き売り、笑いを誘う絶妙な司会をしていただき、沢山の利用者の笑顔を見ることができたことでした。

炊き出しやなぎさ寮を必要とする人が一人でも少なくなるように、今後もふるさとの会の職員として、様々な支援活動を行っていききたいと思います。

そして、最後に一言。今回も越年冬祭りは、山友会や訪問看護ステーションコスモスなど他団体との連携や、ボランティアさん、寄付をくださった方、演芸会やコンサートに参加された方によって、大成功を収めることができました。皆様の温かいご好意に感謝いたしますとともに、今後とも引き続きご協力をお願いいたします。

(西川雄啓)

♪各プログラムの報告♪

●炊き出しメニュー&配食数●

日にち	炊き出しメニュー	配食数
12/29(金)	カレーライス	221食
12/30(土)	特製親子丼	276食
12/31(日)	豆ゴハン・トン汁	265食
1/1 (月)	開化丼	356食
1/2 (火)	特製牛丼	375食
1/3 (水)	ポークカレーライス	471食
計6日間		1964食

料理の仕込み。1日350~400食分の料理を作りました。



炊き出しの様。行列が出来ています。今回、米と衣類は山友会からのカンパでした。



衣類支給。バーゲンセールを超えた勢い。

●アウトリーチ●

ボランティアサークルふるさとの会世話人、麦倉哲先生(東京女学館大学助教授)と隅田川左岸の路上生活者の皆さんを対象にアウトリーチを行いました。当日は、風が強く寒い中でのアウトリーチとなりました。途中で休憩しながら行いました。ボランティアの皆さんも、様々な考えを持って帰られたようです。

1日目 白髭橋～水神大橋

2日目 水神大橋～綾瀬橋

3日目 白髭橋～言問橋先



いざ、アウトリーチへ。麦倉先生と共に、隅田川左岸へ向かいます。



地道に1つ1つの小屋を訪ねます。



隅田川沿いのブルーシートハウス等を訪問。

●浅草七福神めぐり●

1月3日には、浅草七福神巡りを行いました。参加者は全員で16名。それに加えて職員2名、ボランティア5名が同行しました。ガイドよりも参加者の皆さんの方が地理には詳しくかったです。

今回は各々、社寺仏閣にて詣でをされた方が、職員・ボランティアさんからサインをもらう、スタンプラリー(サインラリー)形式で行いました。

皆さん無事、浅草寺に到着致し、どこか顔つきも満足気でありました。

☆ルート☆ 敬老室→石浜神社→橋場不動尊→今戸神社→待乳山聖天→浅草神社→浅草寺→解散(尾竹 唱木)



敬老室イベント。ぼやぼやバンドの皆さんの生演奏は、より心に染みました。



今戸神社にて。お願い事、叶うといいですね。

* 一口MEMO *

アウトリーチとは？

ふるさとの会では2001年ごろから行っている。行政などの社会資源を有効に利用できるような情報提供を行うとともに、路上生活者への街頭ヒアリングを実施し、信頼関係を構築しながら、路上生活状態にある方々を有効な支援へとつなげていくことを目的としている。定期的に訪問することで、路上生活者を孤立感や焦燥感から部分的にでも解放していくことにつなげている。自立の契機がつかめない人にとっては、自立の展望の具体例や手続きの仕組みを説明、理解することで、路上から脱することがもつ意味や可能性について話し、自立のルートにのった後も、必要に応じて支援を継続している。

2.ふるさとの会のホームページが新しくなりました！

このたび、ふるさとの会のホームページが心機一転、リニューアルして生まれ変わりました！

ふるさとの会が運営する各事業所の事業概要が写真つきで見やすく表示され、またふるさとの会が発行した書誌も閲覧できるようになりました。更に、このメールマガジンのバックナンバーも見ることができます。

ホームページの更新を担当した事務局の稲木職員にお話を伺いました。

『ふるさとの会の正確な情報を発信し、どのような支援をしているのかを皆様にもっと知ってもらいたいとの気持ちでリニューアル致しました。ふるさとの会のおこなっている事業がより分かりやすく、より正確に伝わるようになったのではないかと思います。求人ページもリニューアルして、採用までの流れを詳しく記載し、現場で活躍する職員の生の声も見られるようになっております。皆様是非アクセスしてみてください！』ホームページアドレス：

http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/npo_frame.html

(金井麻衣子)



今回リニューアルしたふるさと会のTOPページです



稲木職員が特に力を入れたという採用ページです

3.小正月にはみんなでお汁粉を

1月15日ふるさと会の宿泊所では、利用者の皆さんとお汁粉を楽しみました。中に入っているお団子は、誤嚥防止のためモチや白玉ではなく、特製の『お姫さま団子』。給食センター責任者と日の出館館長を兼務する成清礼子さんにエピソードを聞いてみました。

「最初宿泊所では、新年におせち料理をお出する予定で、給食センターでは用意していたのですが、衛生面での配慮からキャンセルになってしまったと言うことがあり、この時期なのでお汁粉をお出することになりました。しかし、入所者の中には飲み込む力が弱い方もおられるため白玉などは心配があり、給食センターでは色々なところに問い合わせたりして相談しました。そんな中、私が以前勤めていた病院に聞いたところ、その昔お姑さんに教わって伝えた、サツマイモと小麦粉で作る『お姫さま団子』を、認知症病棟ですずっと出しているが問題がなかったということで、それがいいということになったんです。」

小豆色のお汁粉に浮かぶ黄色い『お姫さま団子』。一碗のお汁粉を大事そうに味わう皆さんの顔も、心なしか晴れ晴れとおだやかに見えました。

(ウラベノリコ)



特製団子入りお汁粉。温かい心と一緒に届けます。



穏やかな冬の日。みんなで揃っていただきました。

4.ふるさと会 事業所探訪

今回より、ふるさと会で行っている各事業所の様子を随時お伝えしていきます。今回は、入所施設のひとつ『自立援助ホーム東駒形荘』と、ふるさと会唯一の女性用宿泊施設『ふるさと日の出館』をお届けします。

♪事業所探訪その1 自立援助ホームふるさと東駒形荘♪

今回、取材したのは、自立援助ホームふるさと東駒形荘です。要介護高齢者を対象としたグループホームで、定員は12名の全室個室となっています。

このグループホームでは生活面でサポートはもちろんのこと、栄養士作成の献立による食事を提供し、粥食や刻み食にも対応しています。医療サービスでは週1回内科・精神科の往診や訪問歯科を受けることができることが特徴と言えます。また、月1回程度の行事として、ハロウィン、クリスマス会、初詣、水族館・動物園・博物館見学、筑波山への紅葉の見学等を行い、日中には、麻雀、トランプ、将棋、映画鑑賞、貼り絵等を行い、日々の生活を楽しくてもうえるように職員が努力している部分も東駒形荘の大きな特徴でもあります。

職員の柳沢さんが「東駒形荘では、アットホームな雰囲気づくりを心掛けている」と言うように、職員と利用者がまるで一つの家族ようになっていたのが印象的でした。 (西川雄啓)



ふるさと東駒形荘外観



クリスマス会の様子。入居者の方々が力を合わせて作ったクリスマスツリーの貼り絵を囲んで、楽しい時間をすごしました。

♪事業所探訪その2 ふるさと日の出館♪

今回お邪魔したのは、ふるさとの会唯一の女性用宿泊所である、ふるさと日の出館です。

日の出館の現在の入所者数は18名。就労しながら生活している利用者さんも多くいらっしゃいます。

日の出館の特色としては、様々な状況の方が一緒に生活されているということ。DV被害者、認知症の方、精神障害をお持ちの方etc. ADLが自立されている方であれば、概ね受け入れております。

また、医療との連携を重視している点や、食事を3食提供している点、生活スペースが個室である点なども、日の出館の特徴と言えます。更に、カラオケ大会や折り紙教室、遠足などのお楽しみ行事が毎週のようにおこなわれていることも、日の出館ならではのようです。

アパート転宅されてからも毎日のように遊びに来る方もいたり、皆さんの生活空間というだけでなく、心のよりどころともなっている日の出館です。

(金井麻衣子)



職員の野中さんと、現館長の成清さん



1階のリビングでのカラオケ大会の様子

5.ヘルパーステーションふるさとの『ノロ対策研修』

いくつかの宿泊所で、宿泊者と職員やヘルパーに強い嘔吐と下痢が続発し、保健所のチェックを受けました。「ノロウイルス」は発見されなかったものの、感染性胃腸炎である、と診断された事もあり、予防と対処を学ぶため、HSでノロウイルスに対する研修が行われ、25名のヘルパーとHS全職員が出席しました。

HS職員より、ノロウイルスは嘔吐物から空気感染する可能性もあり、嘔吐物を処理する際は、マスクや使い捨てガウンを身に付けたうえで、排泄物を新聞紙などでまとめて、ゴミ袋に入れて、ゴミ袋の口を縛るように、と指導がありました。嘔吐物のウイルスを殺菌できるのは、次亜塩素酸ナトリウムのみで、0.1%に希釈したあと、嘔吐物を除去した跡に吹きかける必要性もあるとのことでした。

そして、仮にノロウイルスに感染してしまったら、二次感染を防ぐためにも仕事を休み、家で休養する事が強調されました。

これからの予防策として、ノロウイルス対応セット(使い捨ての手袋やマスクや、ガウンと、次亜塩素酸ナトリウムの0.1%希釈液、ゴミ袋等など)が各館に配られました。

研修会では、実際に激しい嘔吐と下痢を体験してしまったヘルパーからも話があり、夜中に突然吐き気を催し、水のように出る下痢のために何度もトイレまで行ったことを報告してくれました。次の日も食欲が無いばかりでなく、肉や魚を見ただけでも吐き気を催したようです。

ふるさとの会では、今後も衛生面だけでなく、様々な事態に備えて、早目はやめの対策を講じていく方針です。

(大塚 直志)



研修の様子、みな真剣そのものです！



ノロウイルス対策セットで完全防備！

6. 今月のボランティア募集

ふるさとの会では、恒例の越年祭りも無事終わり、新たな年をまた新たな気持ちでスタートしています。越年祭りにはたくさんのボランティアさんにご参加いただき、また、財政支援、物資カンパをいただきまして、この場をお借りしまして深くお礼を申し上げます。

さて、ふるさとの会では城北福祉・労働センター別館『敬老室』日曜開放を運営していますが、毎月第3日曜日は、ボランティアサークルと合同で特別行事を行っております。次回は2月18日です。たくさんの方々のご参加ご協力をお願い申し上げます。

<連絡先> 城北福祉・労働センター別館『敬老室』03-3801-0377 (担当: 秋山)

発行元: 特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会
〒111-0031 東京都台東区千束4-39-6
TEL: 03-3876-8150 FAX: 03-3876-7950
E-mail: hurusato@d5.dion.ne.jp
HTML: <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>